

2025年2月19日

2024年度 第2回理容科教育課程編成委員会議事録

1. 開会日時 2025年2月18日(火) 10:00-11:30
2. 開催場所 埼玉県理容美容専門学校 地下多目的室
3. 出席者 7名

	氏名	所属
1	熊野 博仁	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会
2	中田 和伸	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会
3	若月 良仁	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会
4	若林 一樹	株式会社大野孝 グループ 本部企画室長
5	増村 信雄	埼玉県理容美容専門学校 校長
6	千住 義祐	埼玉県理容美容専門学校 法人本部長
7	松本 朋子	埼玉県理容美容専門学校 理容科教員

臨席 埼玉県理容生活衛生同業組合理事長 黒須一彦

4. 学校長 開会挨拶 (増村校長)  
副理事長 挨拶
5. 2025年度第2回・教育課程編成委員会の目的 (司会・千住課長)

【教育課程編成委員 目標の確認】

- ① 第一回での意見を踏まえて、それをどのように教育現場で活かしたかを本校教員より報告する
- ② 現状での問題点に対し、委員から職業人としての忌憚のない意見を伺い、また活発な意見交換を行う。

6. 現況報告 (理容科教員 松本 朋子)

① 1年生 学内競技会

美容と共通課題があるが、今年度はミディアム、クラシカルのみの理容に特化した競技に全員がエントリーした。

② 2年生は、2/7(金)に実技試験が実施され、国家試験結果についての本校職員の意見としてはバリカンのラインなどに仕上がりの悪さが見られ、練習では出来ていても本場で緊張感によるものかと推察している。但し、概ね合格のレベルではあると考えている。

実際の国家試験ウィッグを参考に見ていただいてご意見を伺いたい。

司会 それでは、以上の点を踏まえて委員の皆さんから忌憚のない意見を伺いたい。

※全員で4体のウィッグを確認。

熊野 ウィッグでの技術はサロン・ワークと違って、難しい部分はあるが国家試験課題としてはおおむね合格圏内ではと考える。

松本 学科試験は3月2日に予定されている。2月14日(金)に実施した校内の模擬試験では19人中11人が合格圏内であったが、まだ7名は合格レベルに無く、現在指導を続けている。2月19日(火)に第2回の模擬試験があるのでこちらに期待したい。

また、前年の委員会で提案のあった目標達成シートについて、2024年度はまだ1年生には実施できていない。現2年生は1年次に目標達成シートを実施したところ、目標が定まらない学生が散見され、自主的にシートが埋められない。

効果的な運用をするために、説明や実施のタイミングが望ましいのか今回ご意見を伺いたい。

若林 私の勤務する会社では、これを埋めること自体をトレーニングとして用いている。初めはどんな目標でもよいので否定せず、とにかく埋めることから初めて、具体化していくトレーニングでよいと思う。ただ、二者面談などで学生に適切なコーチングを教員がしていけないと期待する効果は得られないと考える。

松本 本校では9月の秋休みに二者面談をしているが、前回は1年生の2月に実施した。2年生に進級するタイミングであれば、現実的な目標が出せるのではと期待したものである。

中田 これを埋めるのは大人でもなかなか大変であり、学生のものとするれば十分出来ているのではないか。もう少し、1年後2年後の目標など設定をして書きやすくする工夫があっても良いかもしれない。

若月 そうして積み重ねていった結果を卒業時に渡していくのが良いのではないか。

経験の中で目標は変化していくのものなので。

熊野 作業として埋めている学生も散見される。1年かけて作っていくのでも良いのではないか。在学時に埋めながら学び卒業に向かって修正するスタイルでも良い

松本 今回の学生たちはポキャブラリーが少なく、経験値も低いので目標達成シートを埋めていく事が難しい。また、「人見知り」新しい人や環境に対して緊張し警戒心を持ちやすい傾向があるので、少しずつ彼らの成長にあわせて目標を立てながら実施するようにしたい。

#### ④ 課外授業について

松本 第1回目で説明した通り、リベラルアーツ授業で課外授業を多く取り入れている。5月の川越フィールド・ワーク、9月の埼玉近代美術館、11月の東京フィールド・ワークの体験を通して、交通経路の把握、効率よく楽しむ事を体験出来ている。東京フィールド・ワークでは、遅刻した学生は1人いたが失敗するという事も貴重な体験である。2月6日(金)には劇団四季のミュージカル「美女と野獣」の観劇をしたが、経験のないことを体験させることで学生の世界を広げられていると感じる。今後、3月には理容福祉の校外授業として春日部支援学校へのボランティアが予定されている。

#### ⑤ その他報告

松本 1年次の退学は2名となった。退学理由は必要な登校が無く基本的な生活習慣の欠如により学業継続が困難になったものである。

2年の次退学は1名であり、これは進路変更が理由である。理容よりも収入の良い仕事に就きたいという希望による。

千住 ここで、委員より意見聴取をしたいと思います。

中田 校外実習が充実していてよいと思う。現在高校でもなかなか校外学習が実施されない。

若月 自分が理容学生の際は、テーブルマナーをやった記憶がある。ゴルフの授業もあり、それは楽しい思い出として記憶している。

熊野 私の卒業校では希望者で海外研修に行った。海外サロンで予約して施術を経験する課題があり、パリのロレアルサロンで研修も経験した。

若林 本校でも海外研修があり、基本は全員参加だったが実際には金銭問題などで、参加できない学生もいた。

熊野 海外研修では、クレジットカードの作り方などを学べて良かった。旅行もだ

が準備自体が学習になったといえる。

- 若月 お金の使い方などは、学習するカリキュラムがあるのか。
- 松本□ 1年生はリベラル・アーツで「経済学」としてお金の事を学習している。
- 若林 学校が教育に対する明確な目的をどうもつか、社会人としてどのような人材を育てていこうとしているかを学生に発信する必要があると思う。
- 千住 リベラル・アーツ科目に見られるように、理容師資格取得だけでなく社会人としての経験値を付与していこうと計画している。
- 若林 経験値として、マナーや格式のある所に行く経験も良い。入社してからパソコンを使ったことがない学生もいる一方で、学校でホームページを作るなどの経験をしたという従業員もいる。また、マナー・リテラシーについては親御さんも一緒に聴いて欲しいと考えている。家庭で親御さんとそうした話題ができるとう望ましい。
- 千住 大学などで、親御さんも体験できる講座の取組がある。体験授業として一考の余地がある。
- 松本 全体に学生の「実体験」が不足している。多様な経験をせることが必要かもしれない。
- 若月 友人関係の作り方、コミュニケーションの作り方をどう学ばせるか。学校の先生とのコミュニケーションの取り方もわからない学生がいると感じる。実際に講師として入ってみて、学生の口の利き方は気になる点である。
- 松本 指導が難しい局面が多々ある。こちらからアクションを起こして変えていくしかないが、メンタルの弱さが様々な形で表れていると感じる。
- 熊野 授業の中で学生に将来自分のサロンを持ちたいかと聞くと、例えば100万円稼ぎたいとは言うが、具体的な方策などを全く考えていない。夢そのものも受け身である。こちらで現実的な話をすると、「大変ならやりたくない」という短絡的な答えが返ってくる。
- 松本 テクニカ授業で、実体験に基づく話をしていただける事で、実現可能な自分の将来として考えられるようになるかもしれない。
- 黒須 この業界ではかつて2代目3代目がサロンを開くスタイルが多かった。今はサラリーマンなど一般家庭の学生が多いので、現実的な話として受け取れるか疑問もある。
- 若林 弊社では、サロンを起業するための知識や必要なことを段階的にしていく。
- 中田 授業内で、そうした学習を計画的に取り入れていると良い。

- 千住 サロンワークなどに取り入れているが、今後テクニカ授業と連携をして効果的に実施すると望ましい。
- 若月 講話授業の計画はどうか
- 松本 現在、計画中である。現在の学生がどんなサロンに行きたいのか、技術への指向を探っている。
- 若月 最近の卒業生では、若くして独立し成功している卒業生もいる。こうした年齢が近く将来像を共有しやすい卒業生の話を聞いても良いのではないか。また、組合加盟店も呼んで多面的に知ってもらいたいこともある。
- 松本 成功した＝収入が良いになると、他業種を指向する恐れもあるので講師の人选が大切になる。計画していきたい。
- 中田 こうした会議に参加して、学校が様々な取り組みをしていると感じる。
- 若林 組合の果たす役割は是非、きちんと説明して欲しい。
- 熊野 来年度のテクニカでは、今年度ヘアショーに観せる力を感じなかったので、テクニカでヘアショー・ステージに取り組みたい。自分はミュージカルなどを通して、そこで舞台芸術として見て、ヘアショーなどに活かしている。
- 松本 ヘアショーは今まで、学生主体で学校として「作り方」というのは指導されていない。これは、一度考えなおす必要がある。
- 黒須 校外実習として、技術大会などを見てもらうと良い。ヘアショーについては、時代の感覚などもあり、なかなか採点しづらい事もある。あり方を見直すことも必要。また、組合のイメージがあまり良くないこともある。ここは改善していきたい。
- 司会 いただいた意見をもとに、アドバイスを来期の授業に取り入れていく。結果については次年度の会議で報告します。
- 校長 具体的な助言をありがとうございます。サービス業に携わるにふさわしい社会性を持った学生に育成していきたいと考えます
- 黒須 理容科の教育課程編成について、よく議論が交わされたと感じます。今後とも教職員の努力を期待します。

以上